

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 調査報告概要表

作成日 2009年3月4日

【評価実施概要】

事業所番号	"0175300409
法人名	(株) ワークサポート
事業所名	グループホーム ふれやか あさひ
所在地	紋別郡遠軽町大通南2丁目1-21 (電話) 0158-49-9800

評価機関名	(有) NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成21年2月23日

【情報提供票より】(21年1月21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 6 月 10 日
ユニット数	2 ユニット
職員数	20 人
利用定員数計	18 人
常勤 3 人, 非常勤 17 人, 常勤換算 4.2 人	

(2) 建物概要

建物構造	木造造り
	2階建ての 1階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,500 円	その他の経費(月額)	15,900~23,250 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(1月21日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	1 名	要介護2	7 名		
要介護3	6 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	71 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	みずしま内科クリニック・アサヒ歯科クリニック
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「グループホームふれやかあさひ」は遠軽町中心部の商店・飲食店が建ち並ぶ地域に立地しており、ホームは2階建て2ユニットになっています。玄関にはスロープ・手すりが設置され安全に配慮されています。ユニット毎に職員を固定化し、顔馴染みの関係を築く様努め、利用者が集うホールは、ひな人形や切り絵等、季節の飾りつけがされて、家庭的な暖かな雰囲気が感じられます。行事(クリスマス・餅つき等)や食事(鍋料理・生寿司等)は季節感を取り入れた工夫がされ、利用者の楽しみや五感の刺激にも役立っています。理念に「ふれあいと喜びのある・怒りと哀しみのない、にぎやかな楽しい日々の生活を大切にしたい」を掲げ、職員は利用者に優しく寄り添い、ふれあいを大切にケアを実践しています。職員の資格取得にも積極的に、ミーティング以外にも勉強会を行う等、ケア向上を目指した職員育成に前向きに取り組んでいます。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善点については、ユニット毎に会議の中で話し合い改善目標を立て、出来る事から取り組んでいます。自己評価はユニット毎に全職員で実施しています。介護計画は3カ月毎の見直しを行い、情報の共有を図っています。プライバシーについては、記入場所・保管場所の確保により改善されています。運営推進会議や災害対策、終末期に向けた方針については改善に向け検討しています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員が評価を実施する意義を理解し、前回の改善点をユニット毎に会議の中で話し合い、自己評価を作成し、情報の共有が図られています。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は、自治会長・民生委員・地域包括センター職員・家族代表・ボランティア会長のメンバーで構成され、開催に向け検討していますが、メンバーの都合等により開催するまでには至っておりません。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>意見箱を設置していますが、実際の利用はなく、職員は家族の訪問時に利用者の様子を伝えたり、コミュニケーションを図ったりしながら、家族が言い易い雰囲気作りを心掛けています。家族からは不安等について良く話しを聞いてくれるとの声が多く、信頼も高いホームになっています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入して総会等に参加し、地域との交流を深めると共にホームに対する理解を得る様に努めています。地域の文化祭や夏祭り等にも積極的に参加し、利用者の楽しみとなっています。職員と一緒に地域の居酒屋へ出かける利用者もおり、地域との繋がりをつくっています。ボランティア(尺八等)や実習生の受け入れも行っています。</p>

(有)NAVIRE

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で、利用者の人間性をそのまま受け入れ共に暮らしていく事を目指す独自の理念を作成し取り組んでいます。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関、2階フロアー、パンフレットに掲示し、職員は常に意識しながら理念に沿ったケアを心掛けています。職員採用時には理念の説明を行い共有を図っています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し総会や清掃活動に参加する等交流に努めています。地域の行事にも積極的に参加し、買い物や散歩、日光浴時に挨拶を交わし顔見知りの関係を築いています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は月一回のユニット会議時に職員で話し合い、管理者が纏め作成しています。外部評価の結果に付いても話し合いの機会を持ち、項目別に検討しサービス向上に繋げています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	早期の開催を目指し、自治会長、民生委員、地域包括センター、家族代表、ボランティア会長に出席の依頼をしていますがメンバーの都合により開催には至っていません。	○	地域との理解や連携を深め協力体制を構築する手段の一つとして運営推進会議は有効と考えます。定期的に開催しサービス向上に活かす事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政担当者とは連絡を密に取り相談や情報収集に努めています。町主催の研修会にスタッフが参加しサービスの質の向上に取り組んでいます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時には利用者の様子を伝え、月一度金銭管理の報告と利用者ごとの毎日の生活状況報告書、行事の写真を郵送しています。来年度は同法人のデイサービスと合同で家族を含めた行事を計画しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し意見、要望を表す体制を整えています。又、職員は家族の訪問時に何でも言って貰える関係作りを心掛け、出された意見は真摯に受け止め日々のケアに反映する様努めています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係を築く為、各ユニットの職員の異動は行わず、新規採用者には1週間の研修期間を設け管理者と連絡を取れる体制を作り利用者のリスクに配慮されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月行われる遠紋地区の研修会に職員が交替で参加し復命書を提出し情報の共有を図っています。又、ユニット毎に勉強会を開催し、スキルアップに努め、資格取得にも支援体制が取られています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	遠紋地区の研修会に参加し情報交換、意見交換等職員同士の交流を図っています。他ホームの職員が見学に来る事もあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に見学をして貰い、又、自宅を訪問して状況の把握に努め、安心して利用を開始出来る様に取り組んでいます。やむを得ず直ぐ入居の場合にも家族、関係者の協力を得て早期に関係を構築する様に努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者を人生の先輩として共に過ごす中で本人の持てる力を活かし文化や生活の術を学び合いながら、共に支え合う関係を築いています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	管理者、職員は常に利用者の声に耳を傾け、思いや意向の把握に努め、情報を共有し、利用者が自分らしく生活出来る様に支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意向を聞きながら、日々の関わりの中での気付きも含めて話し合い、本人本位の介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月に一度家族の意見、申し送り、介護記録を基に、ケアプランの評価を行い見直しがされています。又、状況の変化や家族の要望に応じ随時見直しがされ、現況に則した介護計画の作成に取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院支援、送迎支援等利用者や家族の要望に応じ、柔軟に対応されています。近所の居酒屋に職員と出かける利用者もあり、利用者の楽しみや、社会との繋がりを保つ支援も行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の希望するかかりつけ医と連携を図り、取り組んでいます。月に一度訪問診療も行われており、急変時には連絡を密に取る体制も整えています。今後、訪問診療を増やす事も検討されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	施設長、職員は、重度化や終末期のケアについての思いを強く持っており、方針、対応の整備については今後に向けて検討中です。	○	早期に方針を定め対応を整備し利用者、家族の安心に繋げていくことを期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者との日々の関わりの中で誇りやプライバシーに充分配慮した言葉掛けを行い、記録の記入、保管についても注意が払われています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れの中で、利用者を尊重し、体調やペースに合わせた柔軟な支援を心掛けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付け等を利用者の希望や状況に合わせて共に取り組んでいます。誕生会等の行事食は利用者の希望を取り入れた献立を立て、利用者の状況に応じた食事も提供されています。希望により外食や居酒屋を楽しむ事もあります。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	最低週2回は入浴出来るように支援しています。開始時間は13時と決まっていますが、利用者の希望やタイミングに合わせて、夜間入浴も行っています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の持てる力を考慮し、食事の後片付けや掃除等を職員と一緒にを行っています。誕生会や季節の外出支援には万全を期する為にイベント企画書、報告書を作成し取り組んでいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの希望や天候を考慮しながら、散歩や買い物等外出支援を実施しています。夏期にはベランダのウッドデッキやホーム前にて日光浴を楽しみ、地域住民とのふれあいの機会を持っています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上の理由により、夜間以外は鍵を掛けないケアを実践しています。玄関にセンサーを設置し、一人で外出する利用者の安全確保に努めています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災マニュアル・連絡網を作成し、年に一度職員全員が救命救急の講習を受講しています。避難訓練は、平成18年以降実施されていません。	○	何時起こるか分からない災害には日頃の訓練が大切と考えます。日中帯、夜間帯を想定した避難訓練を実施すると共に、運営推進会議等を通じて地域との協力体制作りに取り組む事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員が立てた献立を法人本部の栄養士に確認してもらい、カロリー、栄養成分の把握に努め、食事量、水分量の記録も取られ職員で共有されています。水分摂取が不足な利用者には声掛け等で確保に取り組んでいます。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るいリビングには季節の飾り付けがされ、家庭的な雰囲気の中で利用者は思い思いにのんびりと過ごしています。2カ所あるトイレは利用者が利用し易い配置となっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には椅子、家具等使い慣れた品々を持ち込み、中には畳敷きの利用者もおり、希望に沿った思い思いの生活を再現する様に支援しています。		